

2025年8月期 決算説明資料

マニー株式会社

THE BEST QUALITY IN THE WORLD, TO THE WORLD

2025年10月8日

中国における「マニーダイバー」の自主回収

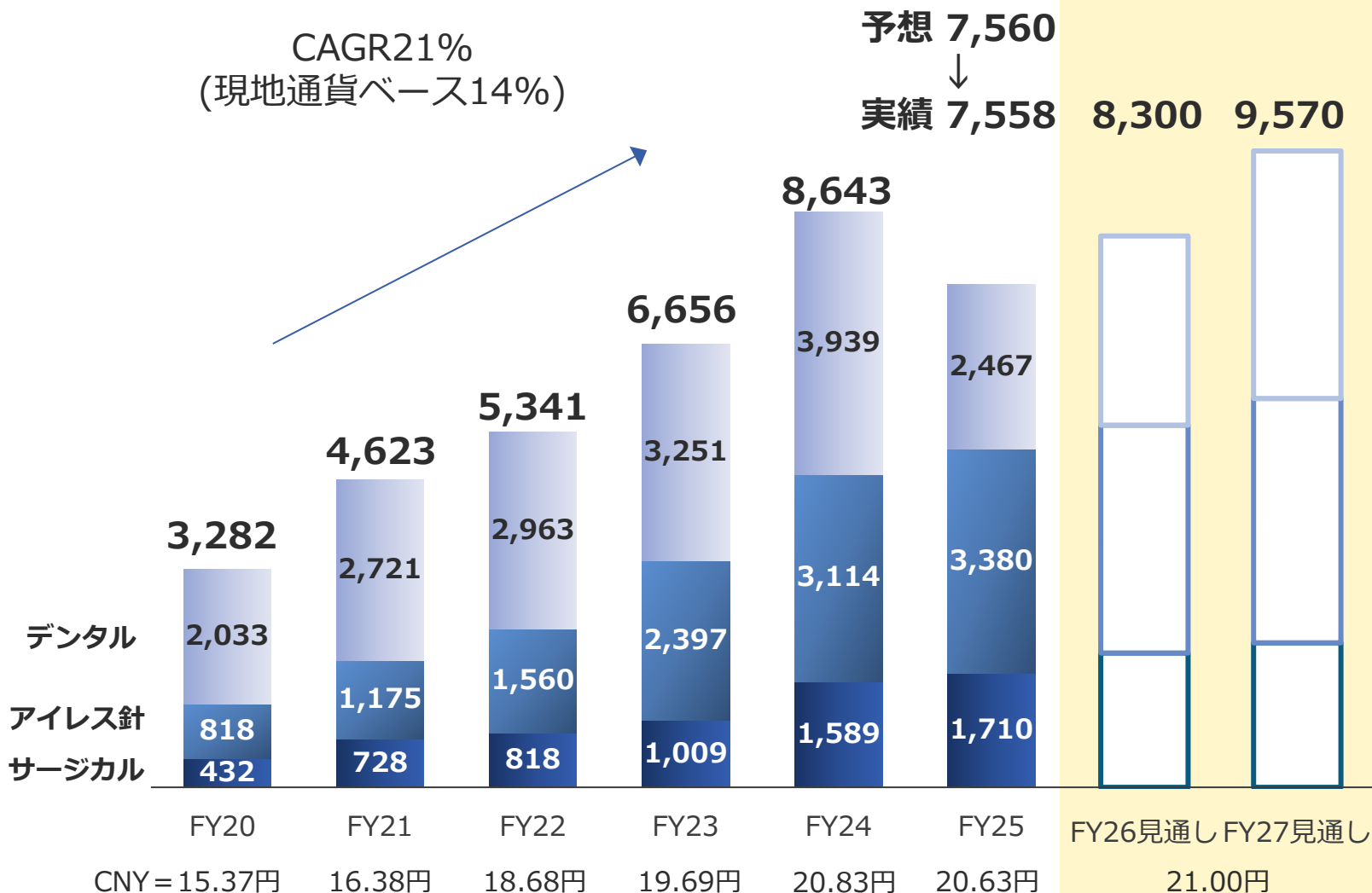
- 当社が製造販売するダイバーについて、中国規制当局に届け出ている製品登録情報の一部に記載不備があることが判明。**2025年3月より自主回収を実施し、同年8月に概ね完了。**
- 対策品の薬事変更申請を2025年3月に実施。認証取得は当初見通し(2026年3月)に対し前倒しで推移しており、**FY26 2Q(12-2月)より全製品の販売を再開できる見通し。**

回収による業績影響		(単位：百万円)
	FY25通期 見通し (FY25 3Q時点)	FY25通期 実績
回収数量（本数）	375万本	420万本
売上減(対前期比)	△1,520	△1,481
新規出荷減	△1,190	△1,100
回収品の処理	△330	△381
利益への影響	△1,200	△1,192

中国ビジネス 今後の見通し

(単位：百万円)

CAGR21%
(現地通貨ベース14%)



● ダイヤバーの売上見通し

- FY25実績は回収前の約50%
- FY27までに回収前の90%以上にリカバリー目標

● FY25実績：

- サージカル、アイレス針については、順調に売上伸長
 - ・ サージカル：YoY+7.6%
 - ・ アイレス針：YoY+8.5%
- ダイヤバー以外のデンタル製品は、横ばい推移

● FY26以降の見通し：

- 再び成長トレンドを回復 (CAGR 8%以上)
- 中国国産化の動きへの対応
 - ・ アイレス針のGPO：スーチャーメーカーとの連携による売上拡大
 - ・ 中国工場の立ち上げ (FY28量産)

2025年8月期決算

連結業績サマリー

- 一時的な要因（中国ダイバー自主回収等）を受け、通期連結業績は増収減益
 - サージカル・アイレス針は成長トレンドを持続し、増収増益
 - 資産の見直し：①ドイツMMGの固定資産の減損を実施（特別損失に1,190百万円）
 ②長期停滞品の在庫処分を実施（売上原価に98百万円）

	FY24 実績 (A)	FY25 実績 (B)	増減額 (C=B-A)	増減率 (C/A)	FY25 通期計画 (D)	(単位：百万円) 進捗率 (B/D)
売上高	28,513	29,968	+1,454	+5.1%	29,600	101.2%
売上原価	10,616 (37.2%)	10,650 (35.5%)	+33	+0.3%	10,800 (36.5%)	98.6%
販管費	9,505 (33.3%)	11,124 (37.1%)	+1,619	+17.0%	10,900 (36.8%)	102.1%
営業利益	8,392 (29.4%)	8,193 (27.3%)	△198	△2.4%	7,900 (26.7%)	103.7%
経常利益	8,464	8,271	△192	△2.3%	7,800	106.0%
純利益	6,286	4,643	△1,643	△26.1%	5,450	85.2%

営業利益から税引前当期純利益 詳細

(単位：百万円)

	FY24 実績	FY25 実績	YoY	備考
営業利益	8,392	8,193	△199	
営業外収益	309	402	+93	
為替差益	-	71	+71	
受取利息	206	240	+34	
営業外費用	237	324	+87	
為替差損	164	-	△164	
減価償却費	-	222	+222	花岡工場竣工に伴う減価償却費
経常利益	8,464	8,271	△193	
特別利益	31	28	△3	
特別損失	71	1,212	+1,141	MMG固定資産の減損（1,190百万円）
税引前当期純利益	8,424	7,087	△1,337	

売上高の状況（セグメント別）

（単位：百万円）

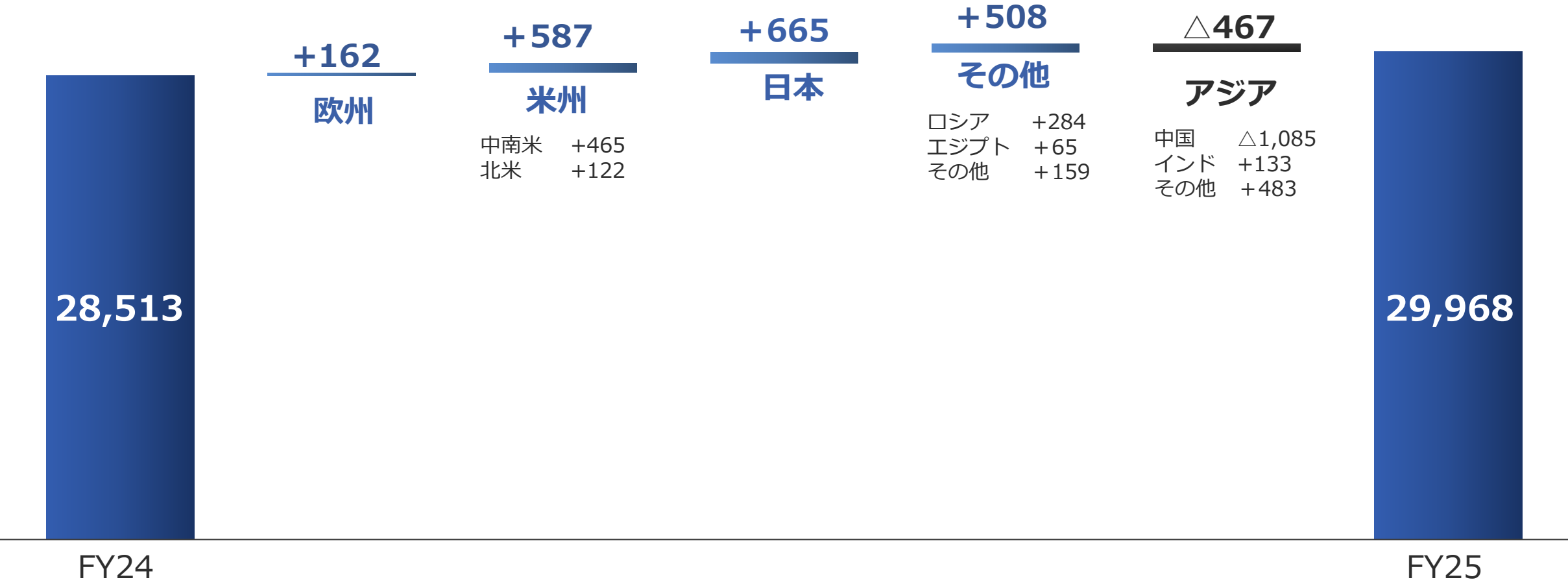
- 売上高は前年同期比+1,454百万円（+5.1%）の増収
 - 中国のダイバー自主回収の影響、ドイツMMGを除き、各セグメントとも増収



売上高の状況（地域別）

（単位：百万円）

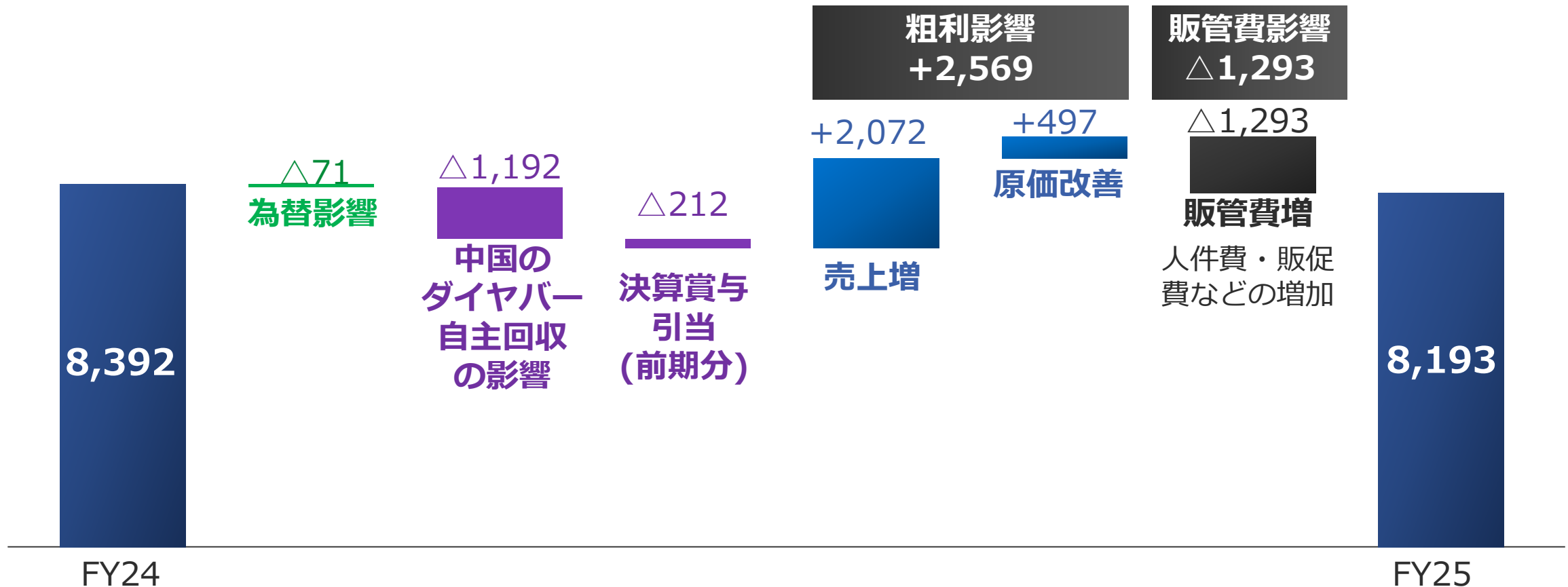
- 中国を除き、グローバル各地域で売上が伸長
 - 国内では、デンタルの営業マーケティング強化により売上が伸長
 - 中南米・ロシアはアイレス針及びデンタルを中心に伸長、北米はサージカルが伸長



営業利益の状況

(単位：百万円)

- 営業利益は減益：前年同期比△198百万円（△2.4%）
 - 一時的な要因により落ち込み：中国のダイヤバー自主回収、決算賞与引当(前期分)
 - 上記を除き、販管費はほぼ計画通り。国内人員増29名（FY25期末人員432名）に伴い人件費が増加
 - 原価率は、ベトナム工場の原価低減等により前年及び計画よりも改善



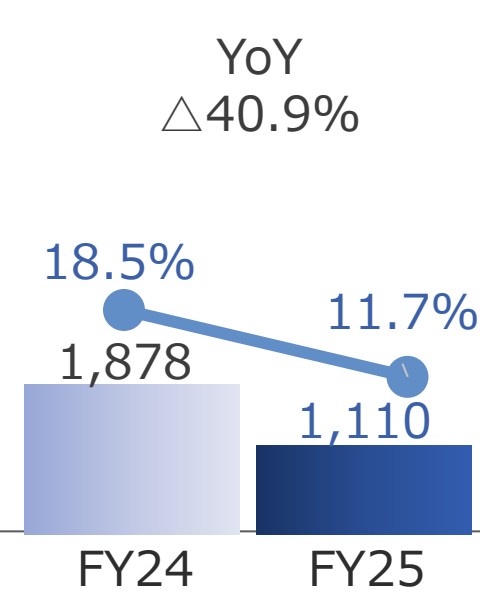
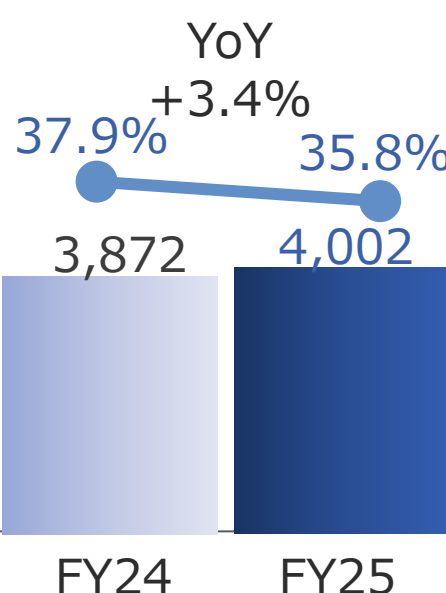
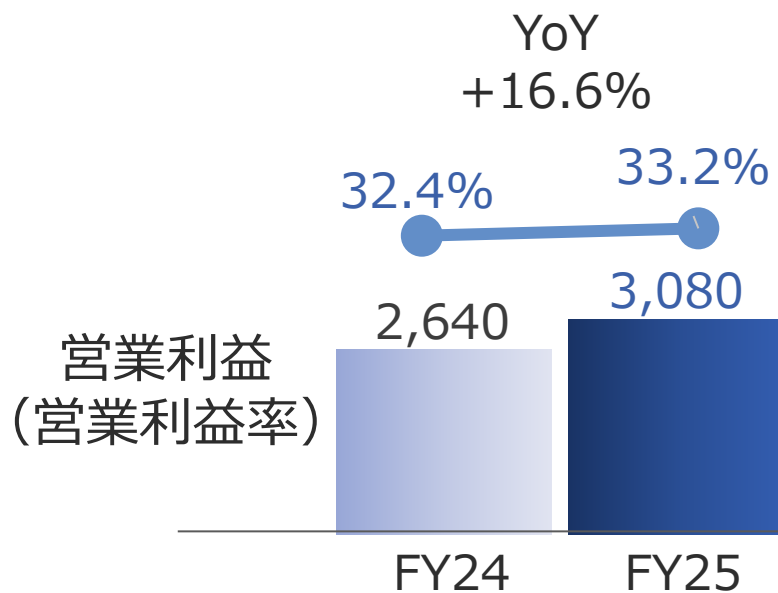
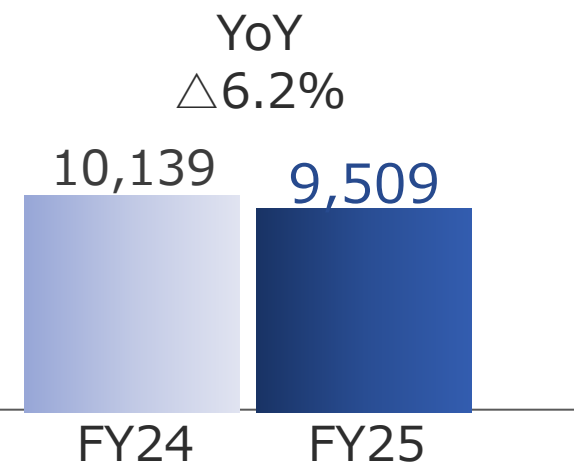
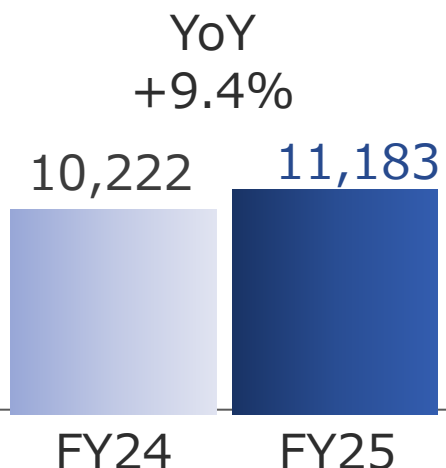
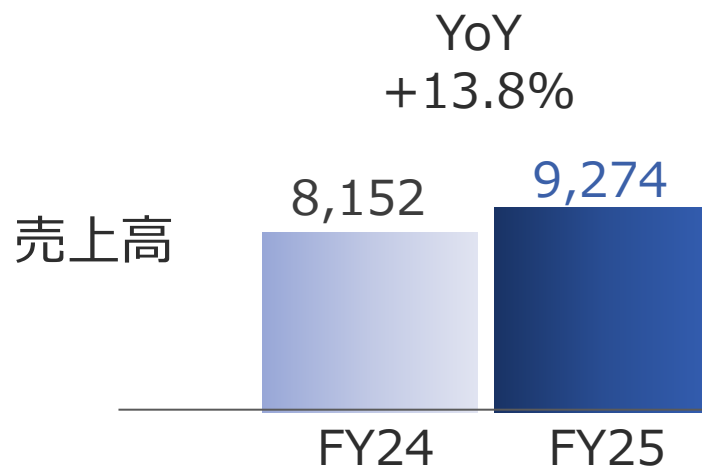
セグメント別業績

(単位：百万円)

サージカル

アイレス針

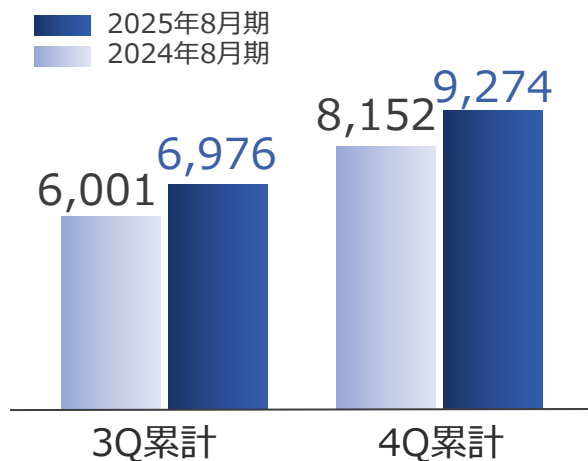
デンタル



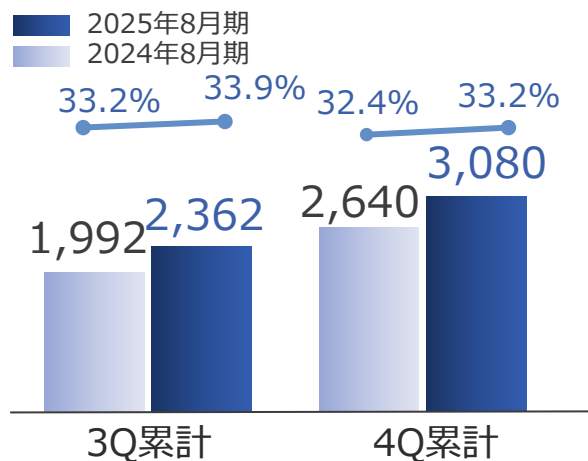
サージカル関連製品 セグメント業績分析

(単位：百万円)

売上高



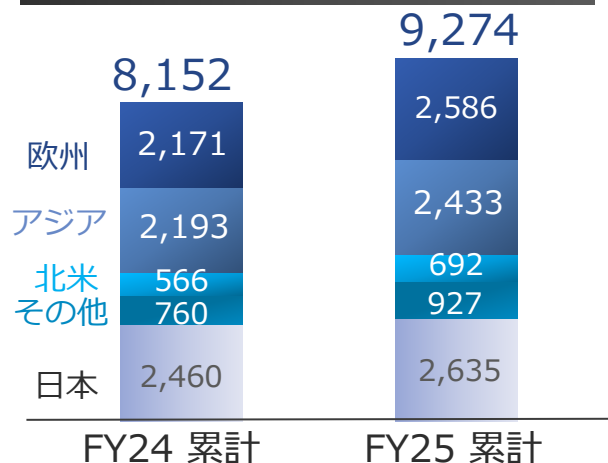
営業利益/営業利益率



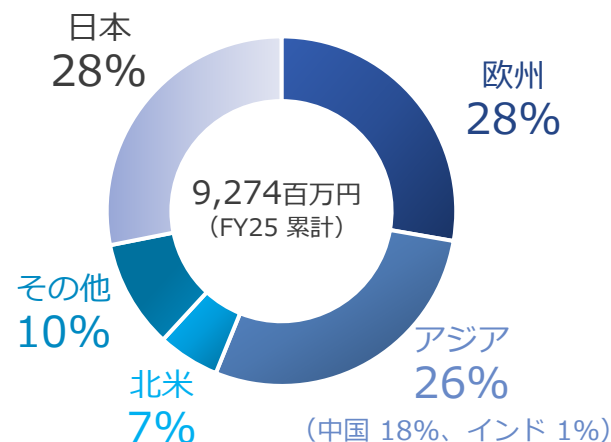
業績概要

- 4Q：北米が好調（MST社との取引開始）、中国の売上が減少（民間病院案件の影響）
- 通期売上は、YoY + 13.8%
- 眼科ナイフを中心に売上高が増加。特に、欧州、アジア/中国、日本、北米
- 売価改善、原価低減により収益性が向上

地域別売上比較



地域別売上比率



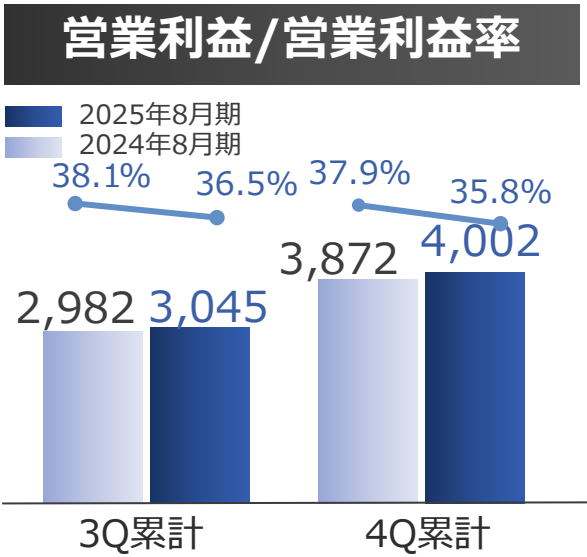
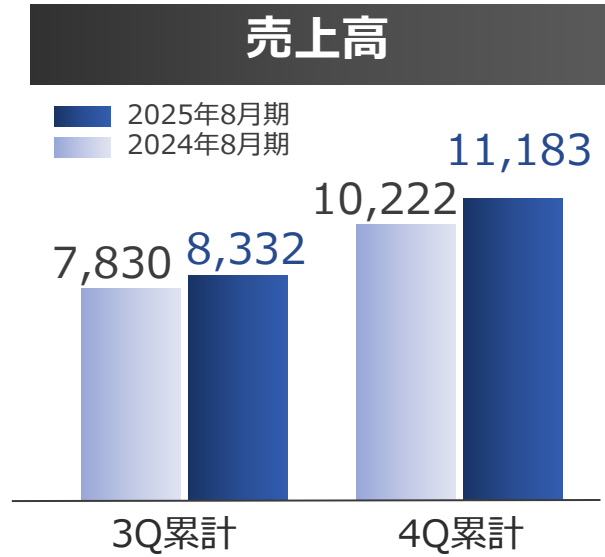
今後の重点施策

- **アメリカ**：MST社とのアライアンスを今後の海外成長戦略の柱の一つとして強化
- **中国**：生産拠点を中国に設立（FY28）により、国産化への対応を強化
- **欧州**：シェアの高い地域(ドイツ、英国など)での実績を他地域へ展開
- **アジア**：東南アジア（インドネシア・マレーシア）のマーケティングに注力

アイレス針関連製品

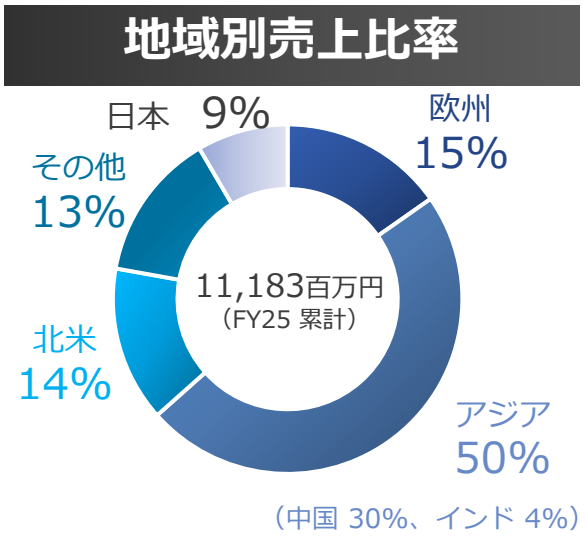
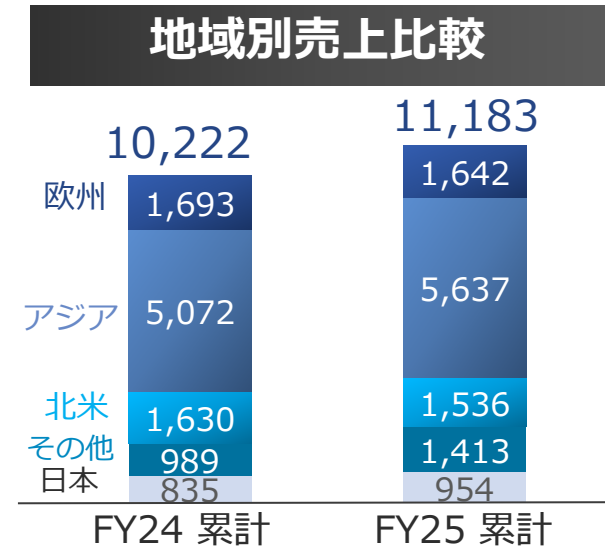
セグメント業績分析

(単位：百万円)



業績概要

- 4Q：中国は顧客のGPO大型受注獲得により売上増、北米・欧州は在庫調整の影響
- 通期売上は、YoY+9.4%
- 中国は、戦略パートナーリング、GPOによるプラス影響などにより伸長
- 粗利益率は改善するものの、販管費の増加により営業利益率は悪化



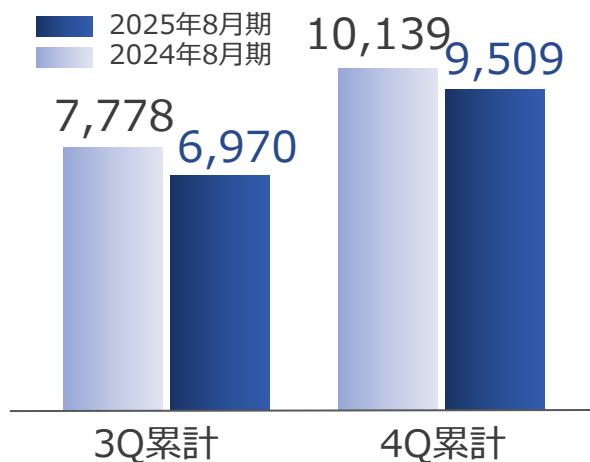
今後の重点施策

- 製品優位性を活かした特殊針の販売拡大（マイクロ針、ブラック針など）
- 競合する新興国プレイヤーへの対抗
 - 新規顧客獲得による拡販
 - 製造コストの抜本的低減

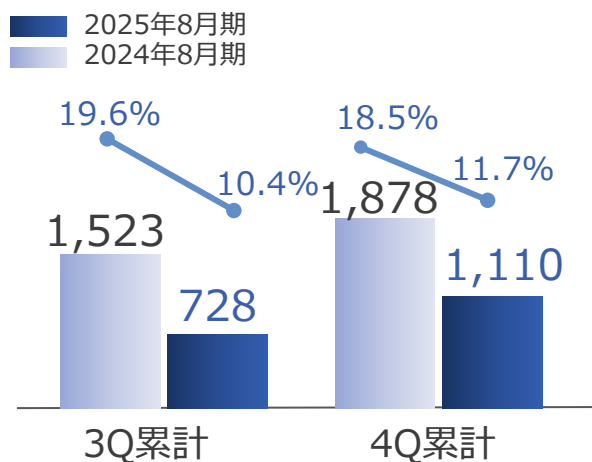
デンタル関連製品 セグメント業績分析

(単位：百万円)

売上高



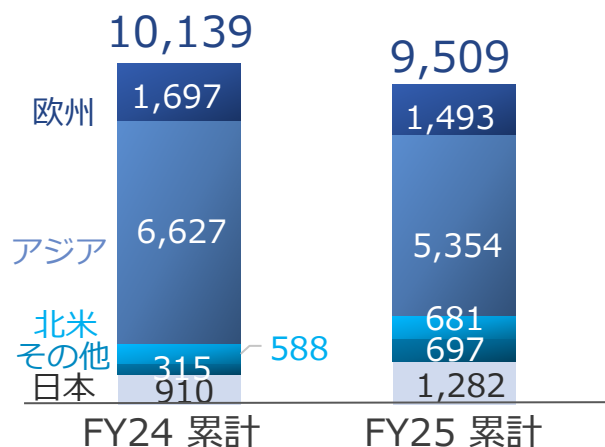
営業利益/営業利益率



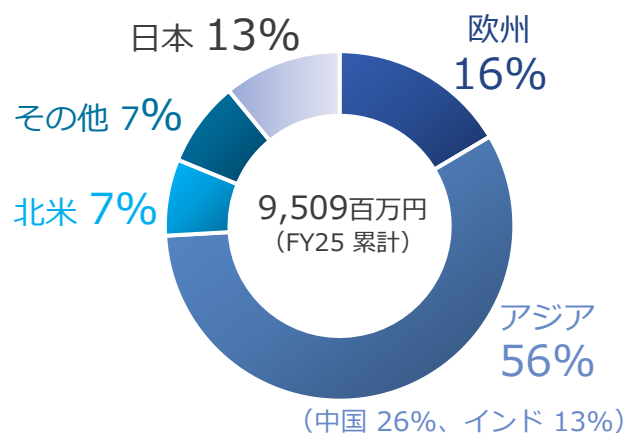
業績概要

- 4Q：日本が好調（マーケティング強化）
- 通期売上は、YoY△6.2%
 - 中国ダイヤバーの自主回収による影響
 - ロシアや日本等はYoY+20%で伸長
- MMGは黒字化に向けた改革を推進中
 - FY25累計：売上19.0億、利益△3.2億
 - 大口顧客の受注減 ⇒ Tier 2顧客層の深耕
 - FY25に固定資産の減損を実施
- JIZAIはFY25累計で出荷34万(YoY+56%)

地域別売上比較



地域別売上比率



今後の重点施策

- 中国ダイヤバービジネス回復強化 (FY26 2Qよりダイヤバー再販売開始)
- MMGのターンアラウンド推進
- JIZAI-1の拡販、JIZAI-2の開発

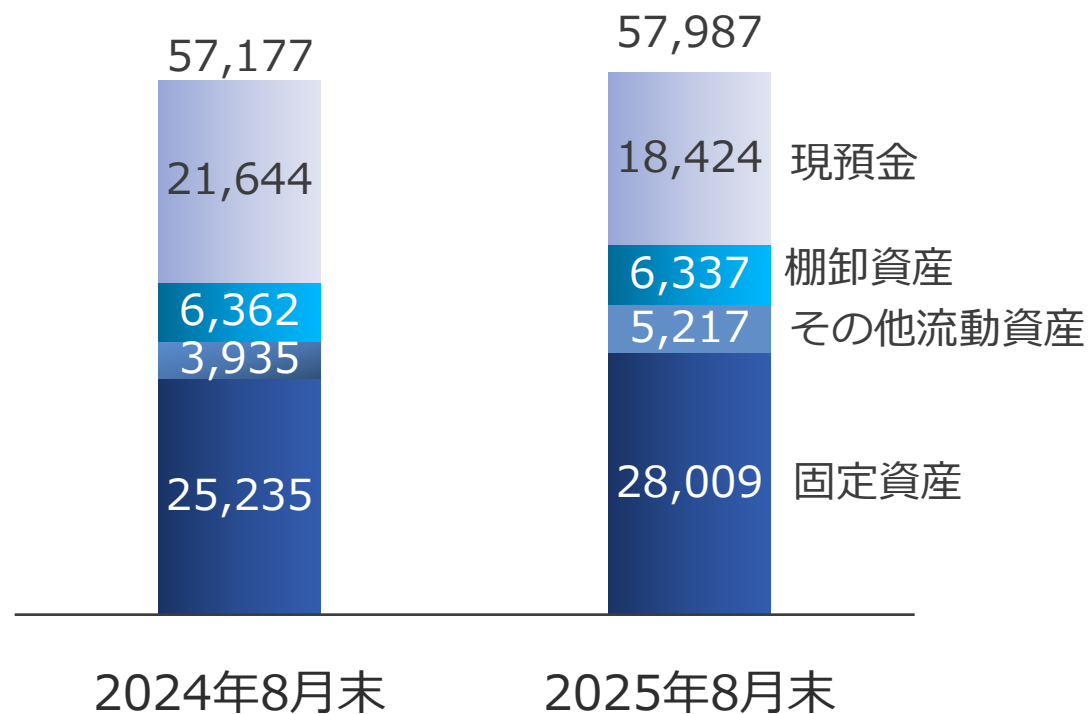
バランスシートの状況

(単位：百万円)

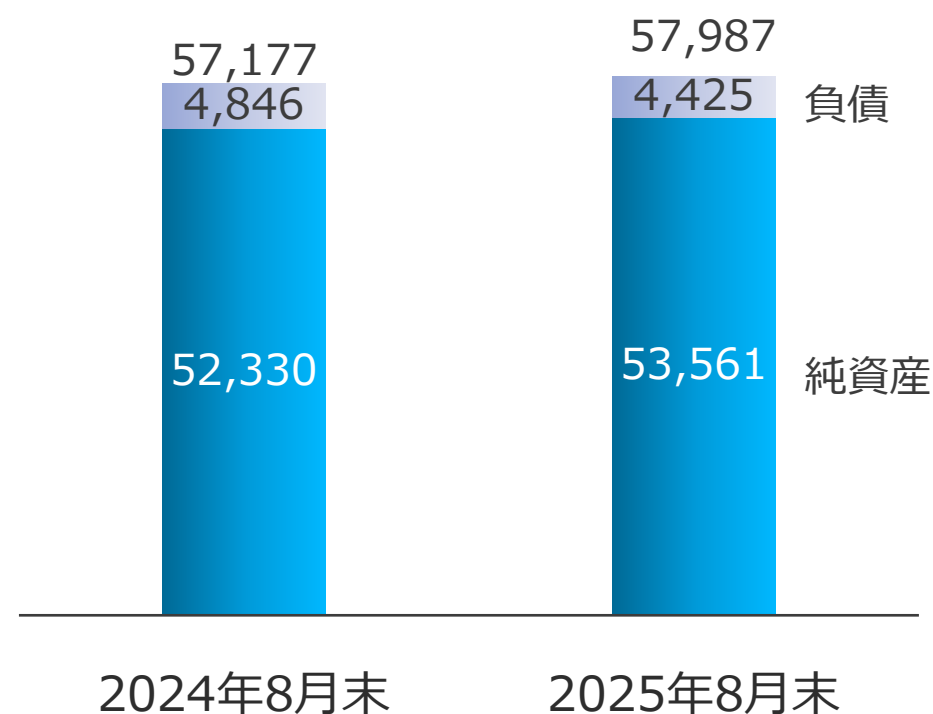
・ 強固な自己資本を維持

- － 花岡工場に伴い現預金が減少
- － 固定資産2,774百万円増加：ドイツMMGの減損を実施した一方、花岡工場の建物・構築物等が増加
- － 純資産1,231百万円増加：利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加

総資産



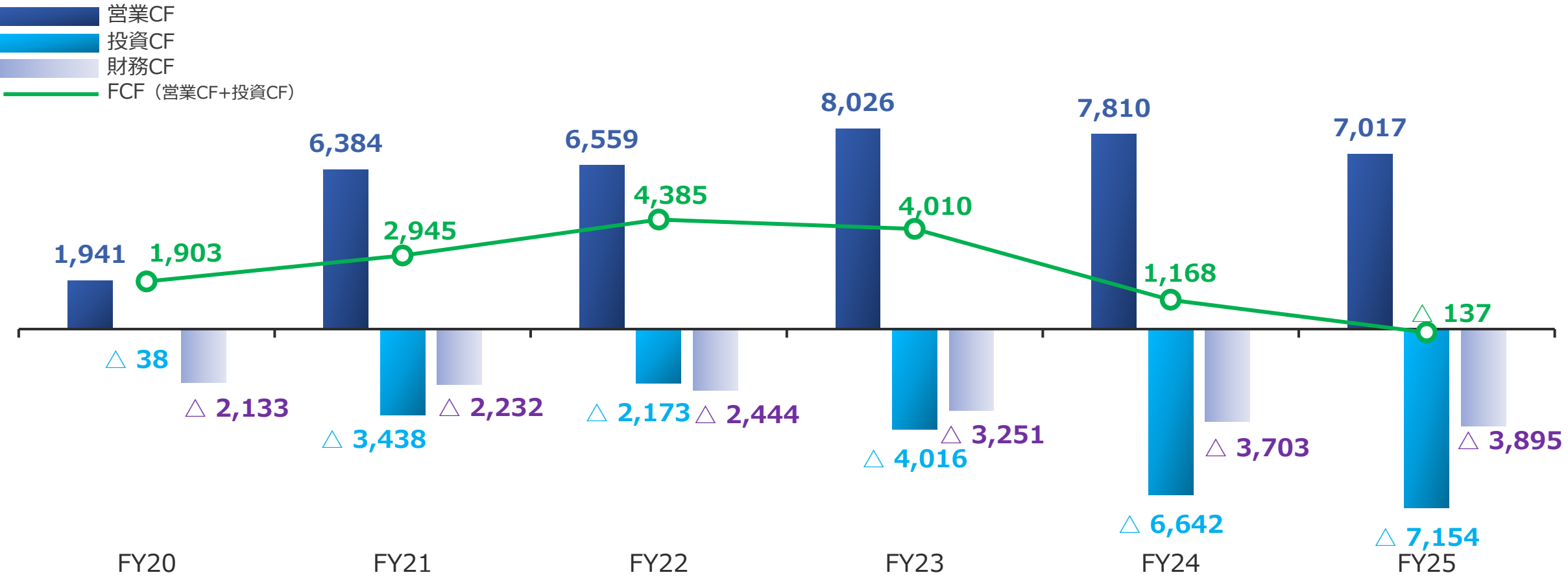
負債・純資産



キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

- ・ スマートファクトリー関連投資は、花岡工場完成により2025年8月期で概ね完了



2026年8月期 業績予想

連結業績予想（2026年8月期）

- 中国ダイバー自主回収からのリカバリー、FY26 2Q(12-2月)より全製品の販売を再開できる見通し
- 新中計の1年目として、FY29目標売上高450億円、営業利益率32%に向け、成長戦略と事業強化を推進
- 事業投資（米国事業、新製品開発等）、経営基盤の強化（薬事、SCM、BPR/DX等）を戦略的に実施

(単位：百万円)	FY25 実績	FY26 計画	増減額	増減率
売上高	29,968	32,800	2,832	+9.4%
売上原価 (%)	10,650 (35.5%)	11,400 (34.8%)	750	+7.0% (△0.7%)
販管費 (%)	11,124 (37.1%)	12,200 (37.2%)	1,076	+9.7% (+0.1%)
営業利益 (%)	8,193 (27.3%)	9,200 (28.0%)	1,007	+12.3% (+0.7%)
経常利益	8,271	8,950	679	+8.2%
純利益	4,643	6,450	1,807	+38.9%

FY26 計画 1USD=143.00円 1EUR=161.00円 1CNY=20.00円 1INR= 1.70円
 FY25 実績 1USD=148.91円 1EUR=163.62円 1CNY=20.63円 1INR= 1.74円

セグメント業績 詳細

(単位：百万円)

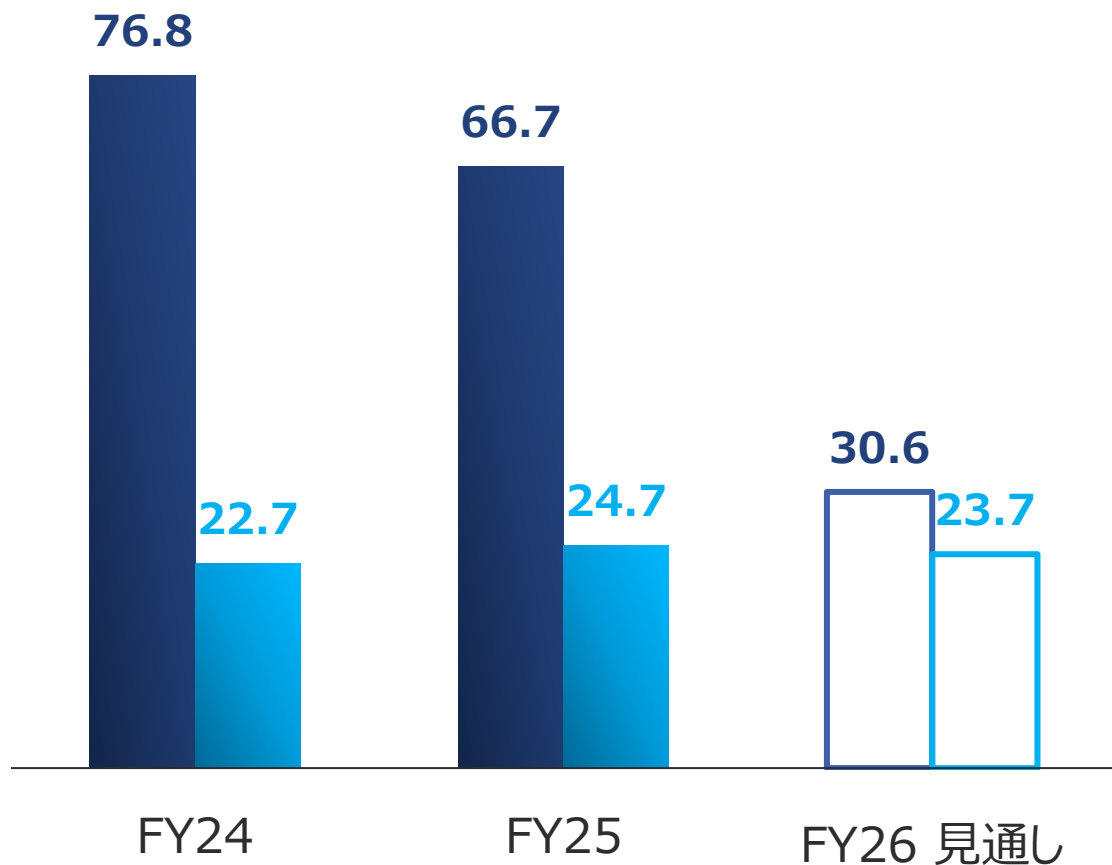
	科目	FY25 実績	FY26 計画	増減額	増減率
サージカル 関連製品	売上高	9,274	10,150	+876	+9.4%
	営業利益	3,080	3,350	+270	+8.8%
	営業利益率	33.2%	33.0%	-	△0.2%
アイレス針 関連製品	売上高	11,183	11,600	+417	+3.7%
	営業利益	4,002	4,150	+148	+3.7%
	営業利益率	35.8%	35.8%	-	0.0%
デンタル 関連製品	売上高	9,509	11,050	+1,541	+16.2%
	営業利益	1,110	1,700	+590	+53.1%
	営業利益率	11.7%	15.4%	-	+3.7%

設備投資・研究開発費（2026年8月期）

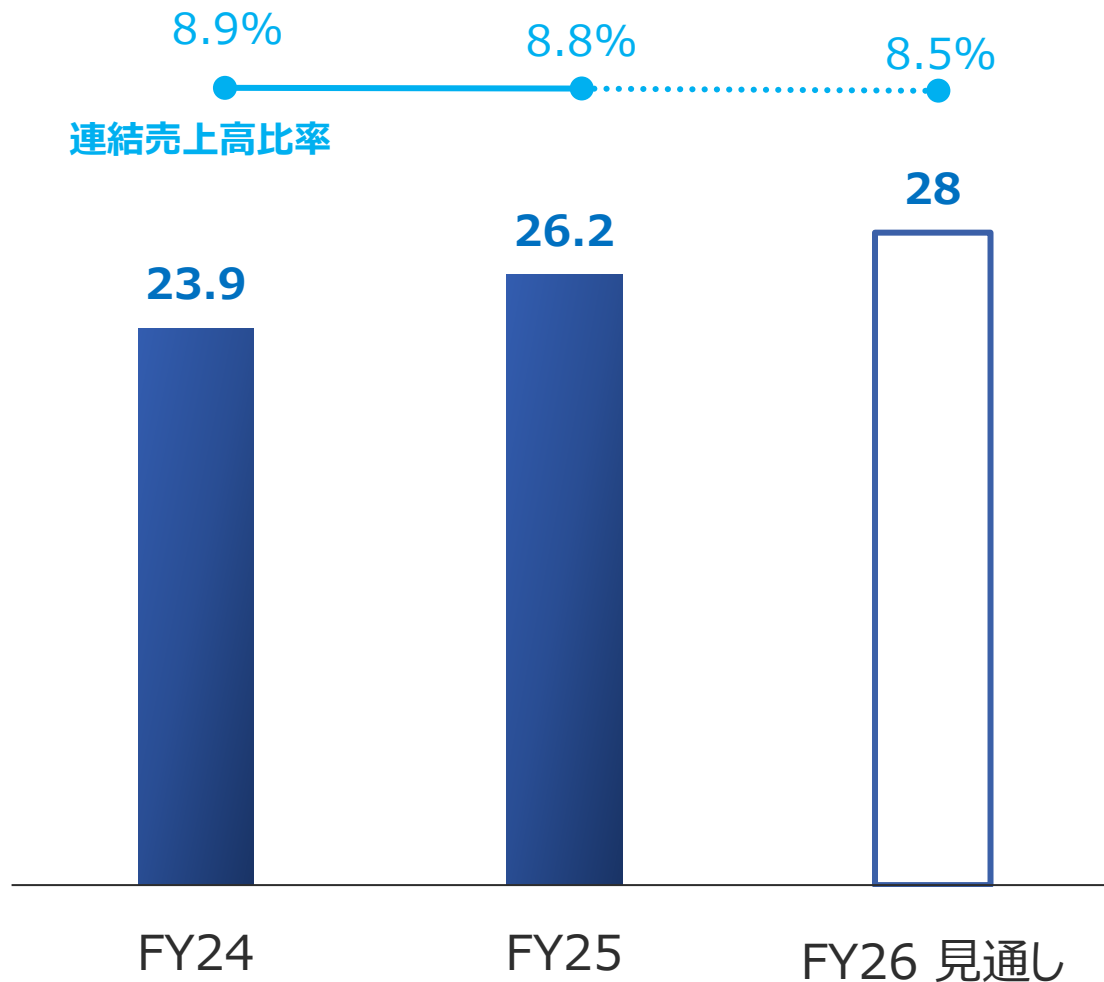
（単位：億円）

設備投資・減価償却費

- 設備投資額（キャッシュベース）
- 減価償却費



研究開発費

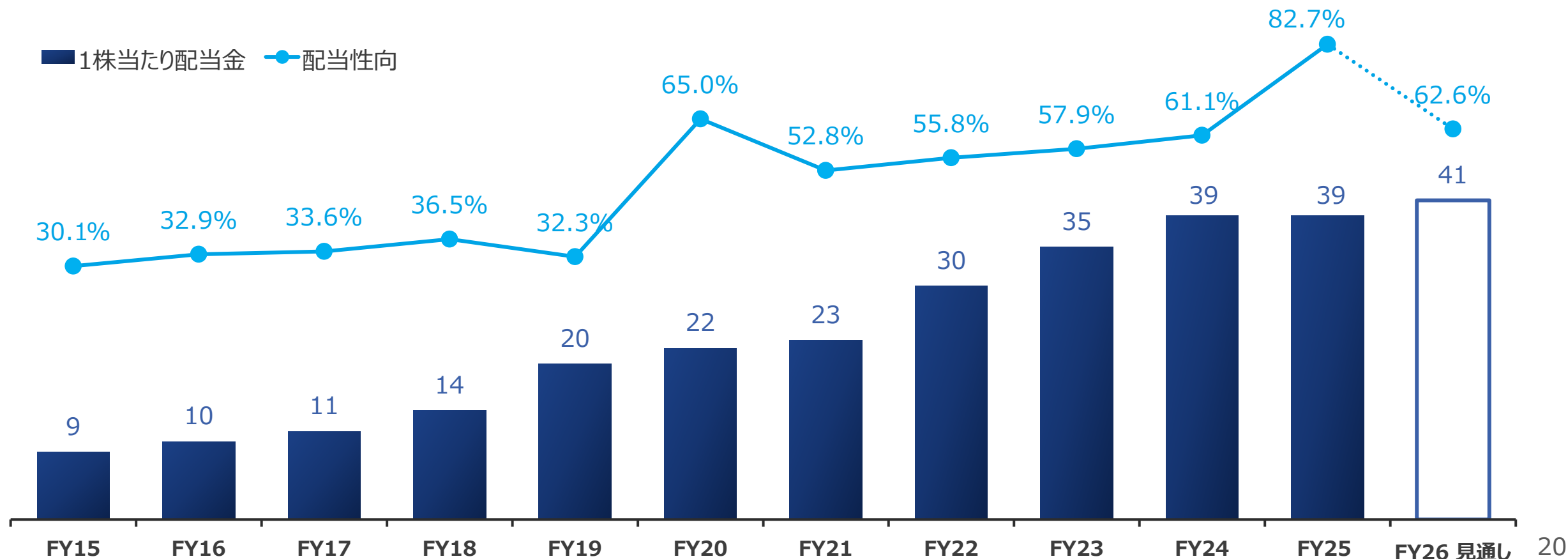


配当予想（2026年8月期）

（単位：円）

- ・ FY25配当予想から変更なし。FY29中計で定めた財務運営による安定的増配を実行

- － FY25：期末配当1株当たり23円を決定（年間配当39円）
- － FY26：年間配当41円を予定（中間配当17円、期末配当24円）



世界一の品質を世界のすみずみへ

THE BEST QUALITY IN THE WORLD, TO THE WORLD

本資料に記載された業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。また、この資料に記載された情報は、あくまで当社をより理解して頂くためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

《お問い合わせ先》

マニー株式会社 経営企画グループ

栃木県宇都宮市清原工業団地8-3

TEL : 028-667-1811

Email : ir@mani.inc

HP : <https://www.mani.co.jp/>



補足資料

為替レート（期中平均レート）

	FY24				FY25				FY26
	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	通期累計
米ドル/円 (USD/JPY)	149.10	147.92	149.66	150.78	149.03	151.57	149.77	148.91	143.00
ユーロ/円 (EUR/JPY)	159.30	159.38	161.40	162.94	161.99	161.25	161.51	163.62	161.00
人民元/円 (CNY/JPY)	20.47	20.45	20.68	20.84	20.88	21.00	20.71	20.63	20.00
インドルピー/円 (INR/円)	1.79	1.78	1.80	1.81	1.77	1.78	1.76	1.74	1.70

セグメント業績 詳細

(単位：百万円)

	科目	FY24 累計	FY25 累計	増減
サージカル 関連製品	売上高	8,152	9,274	+1,122
	営業利益	2,640	3,080	+439
	営業利益率	32.4%	33.2%	-
アイレス針 関連製品	売上高	10,222	11,183	+961
	営業利益	3,872	4,002	+129
	営業利益率	37.9%	35.8%	-
デンタル 関連製品	売上高	10,139	9,509	△629
	営業利益	1,878	1,110	△768
	営業利益率	18.5%	11.7%	-

売上高の状況（地域別 詳細）

デンタル
アイレス針
サージカル

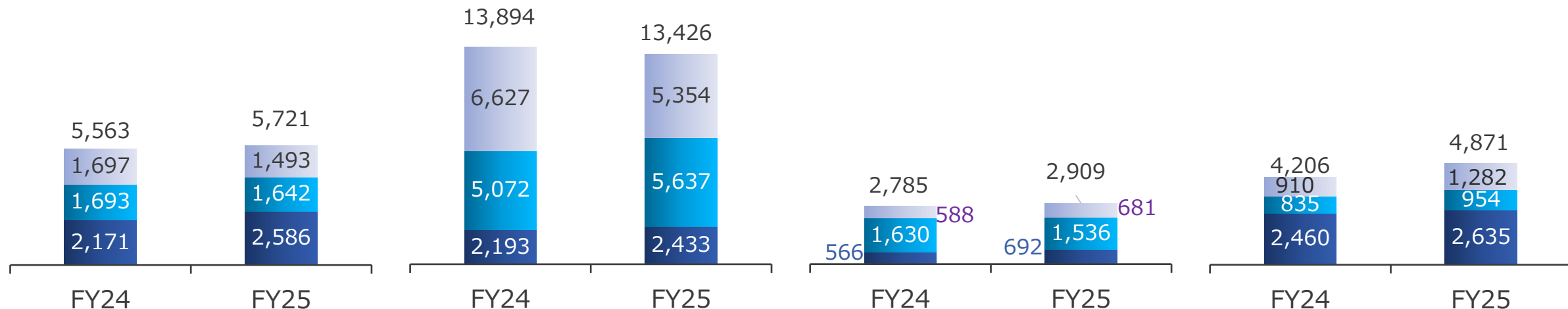
（単位：百万円）

欧州

アジア

北米

日本



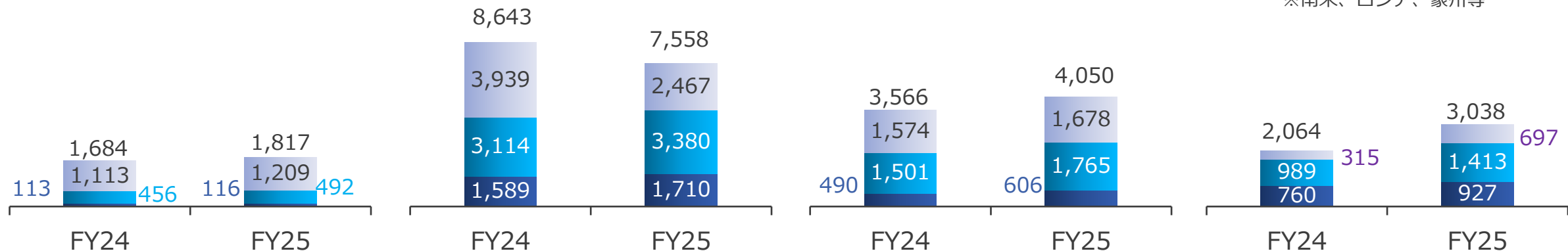
インド

中国

アジアその他

その他地域

※南米、ロシア、豪州等



製品セグメントのご紹介

サージカル関連製品

- 眼科ナイフやスキンスティプレーを中心とする手術用機器
- 競争優位：
 - 優れた切れ味、手術の微細化・精密化に応える微細加工技術
 - 手術時間短縮や身体への負担軽減、術後合併症予防



眼科ナイフ
(白内障手術に使用)



スキンスティプレー

アイレス針関連製品

- 手術用縫合針、手術用針付縫合糸用針 (OEM生産)
- 競争優位：
 - 微細加工技術の蓄積
 - 独自の材料開発
 - 刺通性の高さ、折れにくさ
 - 顧客の要望に対応可能な豊富な製品種類 (1万種類に及ぶ多様なラインナップ)



アイレス針



アイド針

デンタル関連製品

- 歯科治療機器、歯科用修復材
- 競争優位：
 - 根管治療器具の優れた耐久性・根管追従性
 - 環境ホルモンを含まず、歯科医師にとってハンドリングしやすい歯科用修復材
 - ダイヤバー、リーマ・ファイルの高い市場シェア (アジア地域ではトップシェアを確立)



歯科用根管治療機器
(リーマ・ファイル)



歯科用回転切削機器
(ダイヤモンド)

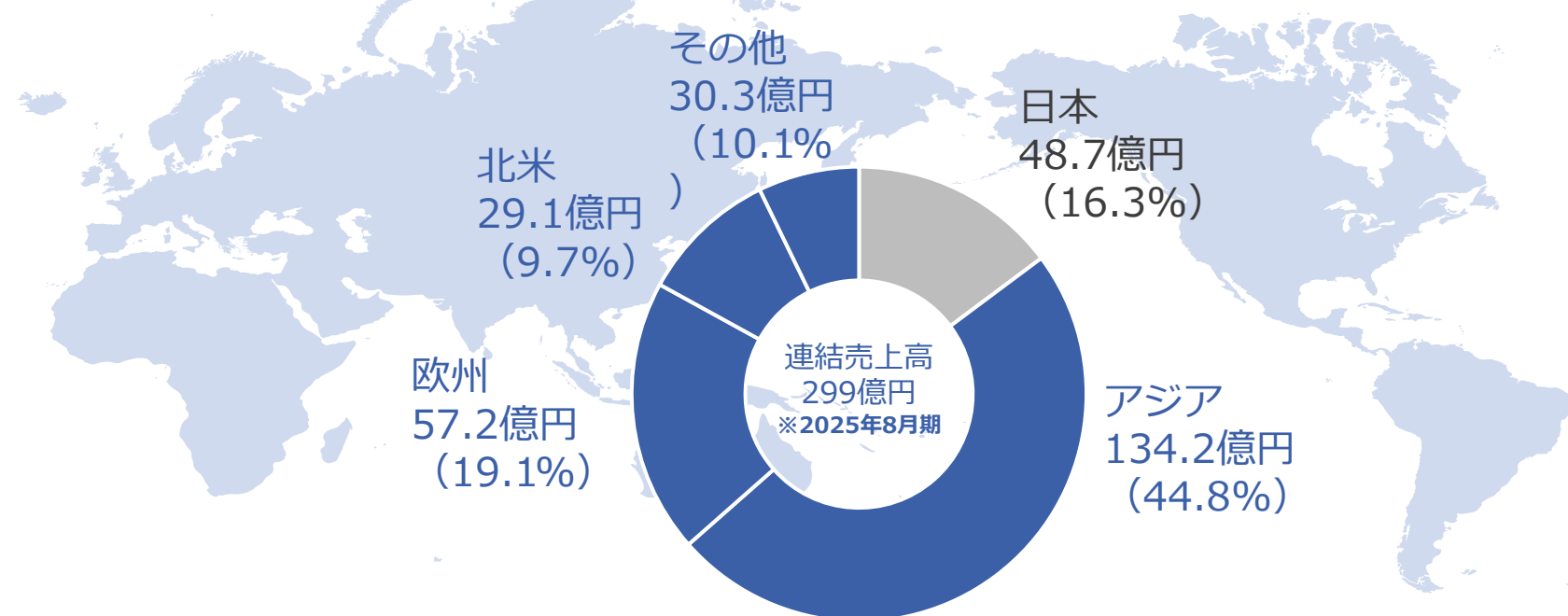


歯科用修復材

会社概要

商号	マニー株式会社	代表者	代表執行役社長 渡部 眞也
証券コード	7730	従業員数	単体：432名 連結：4,140名（2025年8月期時点）
創業	1956年（昭和31年）	資本金	1,087百万円（2025年8月期時点）
本社	栃木県宇都宮市清原工業団地8番3		

世界一の品質を世界のすみずみへ



販売地域

120以上の国・地域

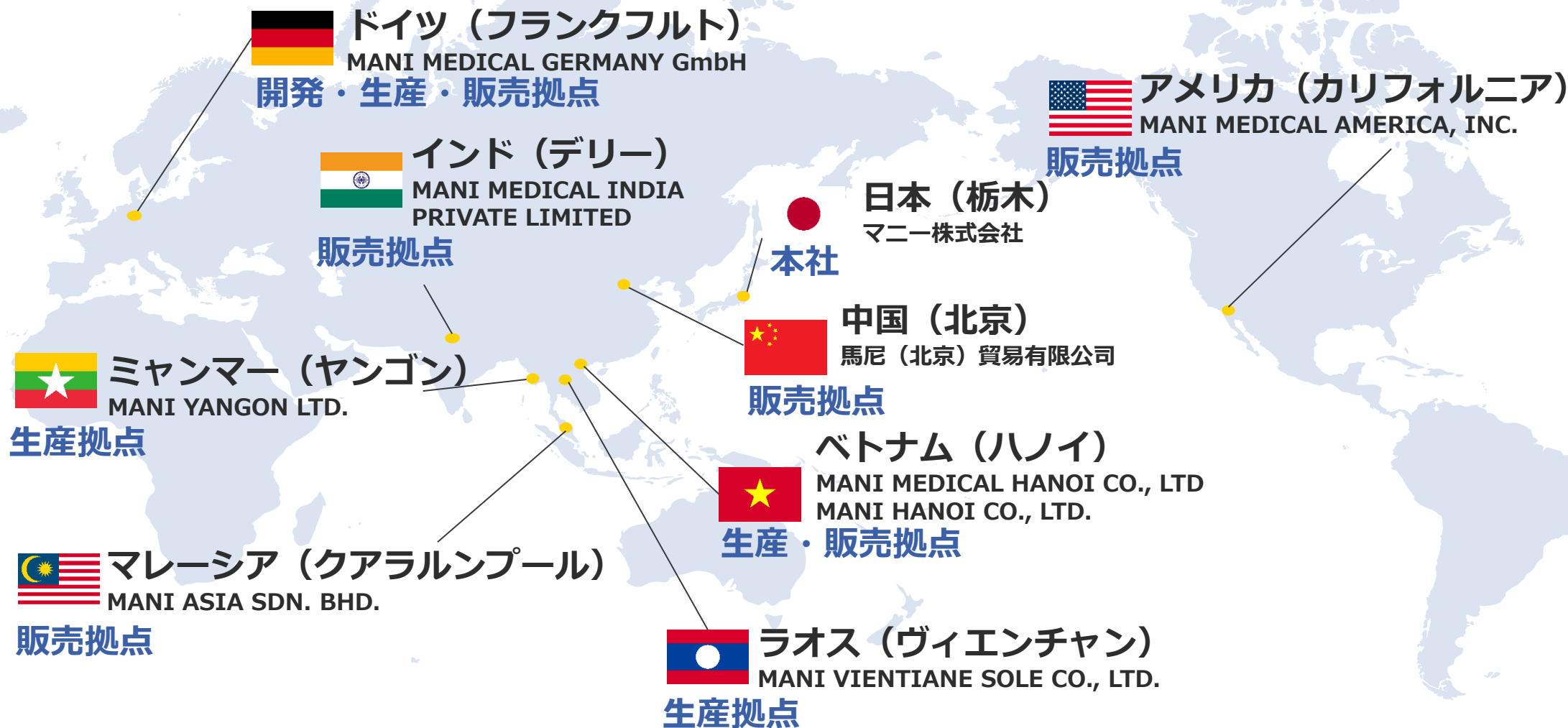
海外売上高比率

83.7%

眼科ナイフ

世界シェア **30%**程度

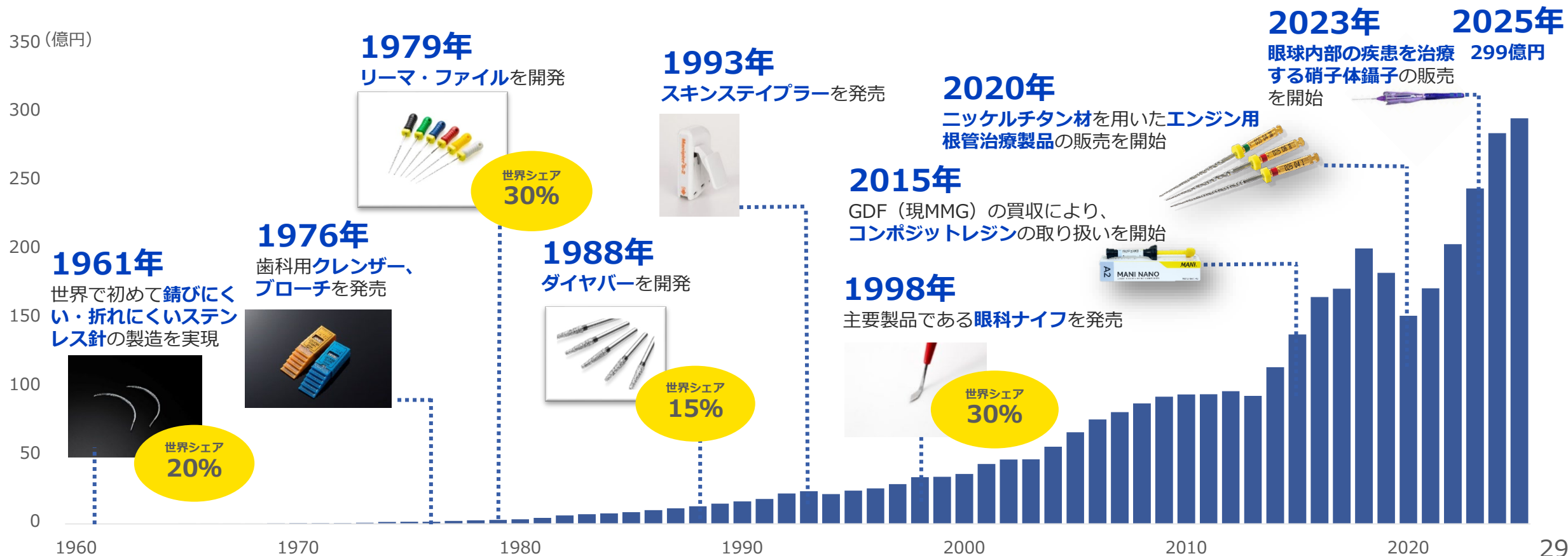
グローバルネットワーク



歴史・沿革

創業から一貫して**医療機器消耗品**の開発・生産・販売に取り組み、事業を拡大

- **1996年**：ベトナムに生産拠点設立
- **2010年以降**：海外販売拠点設立（ベトナム⇒中国⇒インド⇒マレーシア⇒アメリカ）
- **2015年**：デンタル領域でドイツ企業（MMG）を買収し、事業シナジーも追求

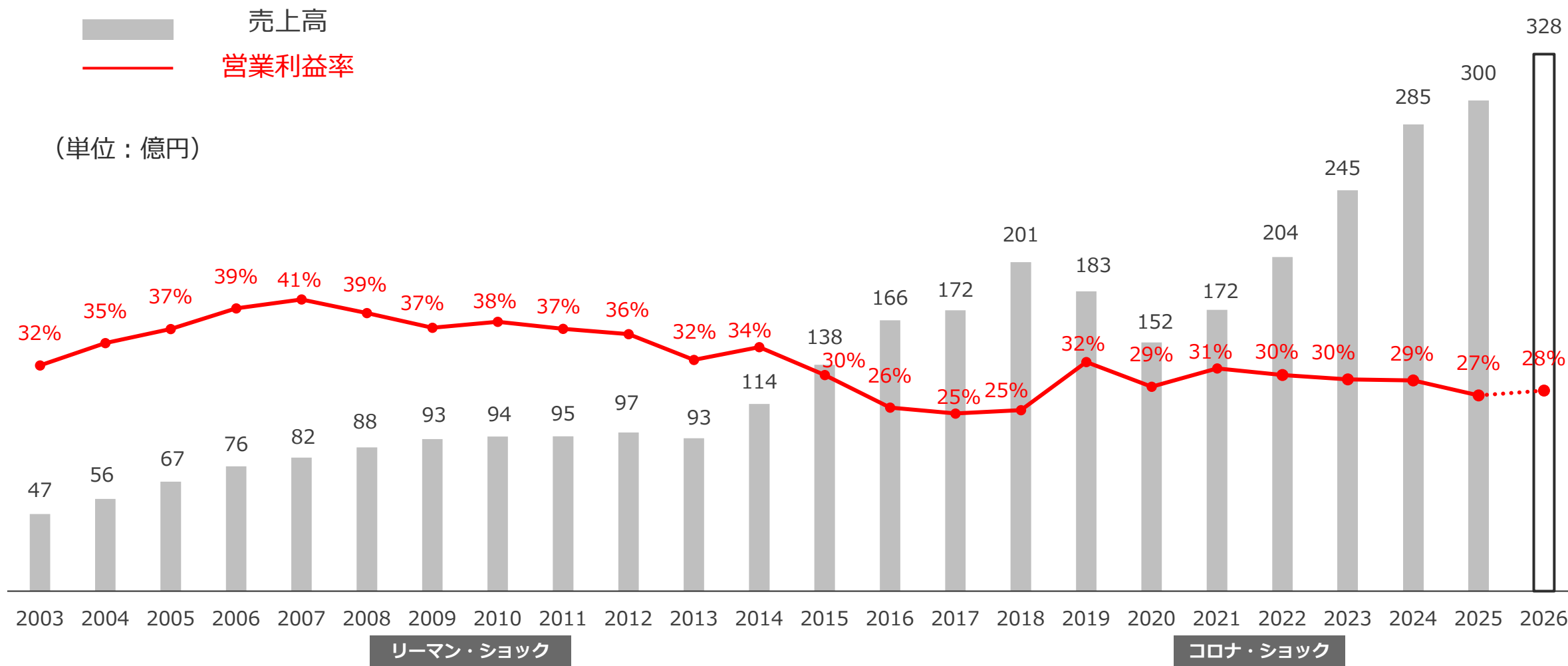


戦略立案の基準 トレードオフへのこだわり

- ① 医療機器以外扱わない
- ② 世界一の品質以外は目指さない
- ③ 製品寿命の短い製品は扱わない
- ④ ニッチ市場（年間世界市場 5,000億円程度以下）以外に参入しない

長期成長の実現に向けて（1）

- 売上高の成長と高水準の利益率を両立
- 不況期に強いビジネスモデル（リーマン・ショック&コロナ・ショック時でも高収益率）



長期成長の実現に向けて（2）





THE BEST QUALITY IN THE WORLD, TO THE WORLD

世界一の品質を世界のすみずみへ